

造影CT検査に関する説明書

様

あなたに行う検査の名称: ヨード造影剤を使用したCT撮影検査

検査を実施する予定日: 年 月 日 時から

造影剤投与目的

ヨード造影剤を静脈から投与し、臓器や血管などの詳細な情報を得ることで、診断能の向上を図ります。

造影剤使用に伴う危険性

- ヨード過敏症や重篤な甲状腺疾患のある方は、ヨード造影剤の使用はできません。
 - 気管支喘息、重篤な心障害・肝障害・腎障害、マクログロブリン血症、多発性骨髄腫、テタニー、褐色細胞腫のある方や、過去にヨード造影剤アレルギーのあった方は、原則ヨード造影剤の使用は禁止されています。しかし、医師が必要と判断した場合には使用することがあります。
 - 気管支喘息やアレルギー歴がある場合は、副作用が出やすくなる場合があります。
 - 造影剤を急速注入する検査では、血管外に漏れることがあり、場合によっては処置が必要となります。
 - 脱水症状、高血圧症、動脈硬化、糖尿病、急性膵炎、中枢神経系障害など影響を及ぼすことがあります。
 - ビグアナイド系糖尿病用薬(メホルミン塩酸塩)を内服中の方は、休薬の必要があります。
- * 上記に該当する方は医師に申し出てください。

副作用

当院では救急部の応援のもと、速やかな対応が可能な体制で検査を行っていますので、異常を感じたら直ちにお知らせください。具体的な副作用の症状と頻度は下記に示す通りです。

軽微な副作用(3~5%)

かゆみ、発疹、頭痛、めまい、吐気嘔吐、動悸、くしゃみ、咳、しゃっくり、倦怠感、悪寒など

重篤な副作用(頻度不明もしくは0.1%未満)

ショック、アナフィラキシー様症状、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、肺水腫、せん妄、錯乱、健忘症、麻痺意識障害、失神、血小板減少、痙攣発作、肝機能障害、黄疸、心室細動、冠動脈攣縮、皮膚粘膜眼症候群

* 国内において造影剤を使用して死亡した報告もありますが、頻度は10~40万人に1人です。

遅発性副作用(2~4%)

数時間~数日後に副作用が発現する可能性があります。

その場合は医療機関に相談してください。

ヨード造影剤の使用に同意しない場合

ヨード造影剤を使用しない場合、病変の検出や診断が困難になる可能性があります。

その場合でも、可能な限り正確な診断に至るような検査を施行します。

造影CT検査に関する同意書

◇造影CT検査に関する説明書のご不明な点、またそれ以外にもお聞きになりたいことがありましたら、いつでもお聞きください。また、本同意は造影CT検査開始前までは、いつでも撤回可能です。

検査説明日：_____年____月____日

主治医：_____

説明者：_____

eGFR: _____ (ml/min/1.73m²) 測定日: _____年__月__日 (検査日より3ヶ月以内の値)

☆ eGFRの数値が不明もしくは45以下の場合は、状況によって非造影検査に変更します。

セコメディック病院長殿

◇私は、造影CT検査に関する説明を受け、質問する機会を得た上で、
納得しましたので、この造影CT検査を受けることに同意します。

_____年____月____日

氏名：_____印 (続柄: _____)

(代諾者)：_____印 (続柄: _____)

(自署であれば押印不要)

連絡先 セコメディック病院

〒274-0053 千葉県船橋市豊富町696-1

TEL:047(457)9900(代) FAX:047(457)8194